

メタセコイア (土屋中学校の樹)

第8号

令和6年12月2日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

<学校教育目標>
夢に向かって

～生徒には夢を 保護者には感動を 職員には技を～

B面

～何がヒットするかわからない。よって人生は面白い～

校長 澤田純一

朝晩はめっぽう冷え込んできました。初冬を感じますね。これから年末年始となりますがこの時期は一年の中でもとても好きな季節です。私は一般的な日本人で無宗教とでも言いましょうか。クリスマスの時はケーキを買い、街頭に溢れるネオンに心をときめかせ、大晦日にはお寺の除夜の鐘を聴き一年を省み、そして元旦には神社に初詣に行き心機一転を心に刻むといった塩梅です。そして、これらの行事が一年の区切りの大切さを感じさせてくれるのです。

さて、今年一年をみなさんといっしょに振り返ってみましょう。令和6年が始まりました。新年の冒頭で「3年生がそれぞれ進路が決定したら、その時に腹の底からおめでとうと言おう。したがって、明けましておめでとうとは言わない。」そのような始業式でした。そして、3年生は見事に進路を決め、中学生として模範的な態度で卒業していきました。その姿、嬉しかったですね。きっと、全員がそれぞれの場所で頑張っていることと思います。そうそう、南郷自然の教室もありましたね。2月だというのに暖かくて山肌が見えていました。スキー実習では、うまく滑ることが出来る人、転んでしまう人、はたまたスキーよりも食事が好きな人など皆さんの個性あふれる姿を拝見しました。そして、4月には入学式と進級。新しい先生と友達との出会い。ちょっと不安な表情と「今年こそは」という強い眼差し。1週間もすれば新しい環境になれた皆さんを見ることができました。5月には体育祭もありましたね。早い早い！みなさんの若さの躍動を前に羨ましくもあり悔しくもありました。「あと30歳若ければ、俺もいい勝負ができるのに」そんな思いと、みなさんの逞しさに鳥肌が立ちました。神輿の会の方も花を添えてくれましたね。6月は修学旅行。京都奈良での2泊3日。たくさんの思い出と友情を抱えることができました。終わりの会で私は「今回の修学旅行は合格。大人になったら再びこのメンバーで京都に来よう」と言いました。何度も修学旅行を引率していますがそれほど私にとっても思い出に残る1ページとなりました。(本当に行こうな。冗談じゃないぞ！【笑】)この間、学校総合体育大会や各種コンクール等もありました。一人ひとりがひかる汗を流していました。いいもんですね！若人が一つのことにも真剣に取り組む姿は、これ以上に美しい姿はないと確信しています。暑い夏が過ぎ2学期が始まりました。各クラスが合唱コンクールに向け練習を開始しました。そこには朝、昼休み、放課後と歌声が響き渡る学校がありました。校長室に聞こえてくる歌の響きが何とも良いのです。10月には本番。ウエスタ川越の大ホールでの発表となりました。みなさんの歌声を聞きながら涙が溢れてくるのです。不思議なものです。歳のせいだ涙腺が緩くなったかな、いや、違う。心を揺らす歌声だから胸に響いてくるのだ。そんな思い出でしたね。そして、3年生から2年生へのバトンを渡す新人戦や新生徒会。3年生には今までご苦労さん。よくやったとの思いと2年生よ、これからよろしく頼むというメッセージを伝えました。それから、吹奏楽部の全国大会金賞。すごかったですね。あの緊張感の中、日頃の練習の成果を120%発揮してくれました。たくさんの先生方も応援に駆けつけてくれました。保護者の方とともに手を取り喜びました。それから、バザーもありましたね。保護者・地域の方そして先生方も出店し頑張りました。結果、大いに盛り上がりました。11月は、7組の皆さんとキャンプ場にてはんごう炊飯をしましたね。地域の方が田んぼを貸してくださり、田植えから稲刈まで行い、とれた米でカレーライスを作りました。「うまい！」皆さんの育てた米はとても美味しかったですね。このように泣いたり笑ったり、喜怒哀楽全開で充実した時を過ごせたことはみなさんのおかげなのですね。「人生捨てたものじゃない。ありがとう！」

それはさておき、昔々、私が高校生の頃レコードというものがありました。(その後、CDとなりました)今では音楽を聴くときは音楽アプリからダウンロードとなるのですが、丸い円盤のようなレコードというものがあつたのですよ。レコードにはA面(表)とB面(裏)がありましてね。ヒット曲や新曲はA面と決まっていたのです。しかし、稀にB面がヒットすることがあるのです。するとレコード会社はそれをA面にして販売したのです。令和6年が終わります。良い年だったと思える人はそれでいいでしょう。でも、あまり納得のいかない一年であったと思う人は、すなわちB面。考え方を改めて新年を迎えてはいかがですか。みなさんの可能性はA面だけではありません。隠れたB面がものすごく可能性を秘めたものであることがあるのです。私は現役で働いているときはA面、老後はB面。そのように考えています。よってB面を舐めちゃいけないし、逆にA面以上に充実した時を過ごしたいですね。

それでは、保護者・地域の皆様、今年も多くのことにご協力いただき大変ありがとうございました。全ての方に感謝申し上げるとともに来年もさらなる進化した土屋中をお見せする覚悟です。どうぞ良いお年をお迎えください。

生徒の皆さん、年末年始、元気に楽しく過ごしましょうね。来年もよろしく。そして、心の底から、元気をくれてありがとう！